

5 環境保全と社会貢献

1. 環境保全と社会貢献

一般市民や子供も参加する水環境保全等の社会貢献活動や、広報活動を共催又は協賛することにより、上下水道の水環境保全における役割等についての理解促進を図っています。

2. 下水道展への出展

下水道展'23札幌に出展しました。今回は地方開催でしたが、来場者数は前年の東京開催とほぼ同数の30,450人でした。水コン協ブースの来訪者は約1,000人でした（うち、親子連れなど一般の方は約800人）。また、学生向けに水コンサルタントの魅力伝える企画「水コン協カフェ」を行い、就職活動中の多くの学生の参加がありました。



下水道展出展ブースの様子

6 資質向上

働き方改革関連法が施行され、水コン協会員の企業においても様々な取り組みが行われています。水コン協では、令和元年度より「働き方改革セミナー」を開催しており、令和5年度はzoomウェビナーにより、「働き方改革とウェルビーイング～従業員と従業員と社会を幸せにする働き方とは!?～」についての講演を行いました。



働き方改革セミナーの様子



Association of Water and Sewage Works Consultants Japan

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 (水コン協)
東京都荒川区西日暮里5丁目26番8号 スズヨシビル7階 〒116-0013

TEL:03-6806-5751 FAX:03-6806-5753 <https://www.suikon.or.jp>



令和5年度の主な活動

1 第三期中期行動計画(2022-2024)に基づく主要行動

「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」をコンセプトとした第三期中期行動計画(2022-2024)の2年目として、「業務領域を拡大し、変化する地域・社会・事業者の課題に適時・的確に対応」など10の主要行動を推進しました。

2 人材確保・育成支援に係る活動の展開

現在、人材確保・育成支援が最重要の課題となっています。要望と提案活動の中で、コンサルタントの就業環境改善、DXの推進、適正な工期確保、発注の平準化、ウィークリー・スタンスの実施等をお願いしました。また、人材確保策として、水コンサルタントの広報のため、SNSのX(旧Twitter)の運営や、動画コンテンツの配信、パンフレットの配布などを行いました。

3 災害時支援に係る活動の強化

令和5年度末で事業者との災害時支援協定の締結が78団体(都道府県との一括協定15件を含む。一括協定参加の市町村を含めると595団体。)となりました。

4 支部活動(一例)

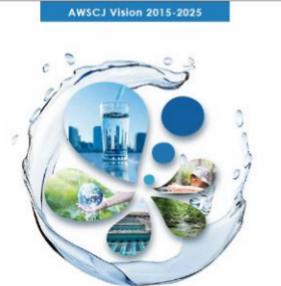
- 北海道支部
 - ・技術研修会
 - ・独占禁止法・ハラスメント予防研修会
- 東北支部
 - ・コンプライアンス研修会
 - ・次代を担う職員研修会
- 関東支部
 - ・技術講習会
 - ・若手社員研修会
- 中部支部
 - ・小学校への出前授業
 - ・技術講習会
- 関西支部
 - ・技術講座
 - ・施設見学会
- 中国・四国支部
 - ・管路更生工法講習会
 - ・技術講習会
- 九州支部
 - ・技術講習会
 - ・コンプライアンス研修会



出前授業
(中部支部)



若手社員研修会
(関東支部)



AWSCJ Vision 2015-2025
第三期中期行動計画(2022-2024)
これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦

公益社団法人
全国上下水道コンサルタント協会
Association Of Water And Sewage Works Consultants Japan
第三期中期行動計画パンフレット



水コンサルタントになろう機械・電気版

1 調査研究

1. 調査研究（独自）

座談会の実施、業務成果の情報発信などを行い、得られた成果についてはHPへの掲載などの方法により情報公開しています。

2. 広報誌「水坤」の発行

広報誌「水坤」を発行し、会員各社への配布、地方公共団体、大学等の教育機関等への寄贈をしました。

- ◆ 夏号特集テーマ：生まれ変わる上下水道～今の時代に求められるものへ～（令和5年7月発行）
- ◆ 新春号特集テーマ：次世代を支える上下水道（令和5年12月発行）



水坤 2024年新春号

3. 大学・他団体の実施する調査研究への参画・支援（受託調査研究）

日本下水道協会（下水道用歩掛検討委員会歩掛改定に伴う調査設計補助業務等）、東京都水道局（耐震設計ガイドライン改訂に係る支援業務）、北海道大学（広域水管理に関するデータ収集）等の合計9テーマについて受託し、主体的に参画・支援しました。この成果は、それぞれの団体により公開され、広く活用されています。

4. 委員・講師の派遣

他団体等からの要請を受けて「下水道技術開発会議」、「浄水技術支援委員会」などに委員を派遣し、日本下水道事業団「下水道研修」、地方公共団体など主催の講演会・研修会に講師を派遣しました。

2 要望と提案

1. 国等への提案活動

水道技術座談会を開催し、厚生労働省や事業者とコンサルタントにより、水道事業の耐震対策、CPS/IoTの技術を活用した水道情報活用システム、スマートメーターによる自動検針、漏水の早期発見、AI活用による管路更新診断などについて意見交換を行いました。

また、国土交通省に対し、広域化・共同化、官民連携、脱炭素、DX、強靱化等の課題について、提案・意見交換を行いました。日本下水道事業団と、能登半島地震、担い手確保策、ウォーターPPP等について意見交換を行いました。



水道技術座談会

2. 就業環境改善と調達制度の要望

上下水道事業の執行上の課題について、「要望と提案(令和5年度版)」に取りまとめ、主な事業体に持参し、改善の要望を行いました。適正な履行期間の設定や発注時期の平準化、DXの推進、ウィークリー・スタンスの実施、技術力を評価した調達制度への転換等を要望しました。

3 人材育成

1. 技術研究発表会の開催、技術報告集の発行

第33回技術研究発表会を開催し、成果発表を通じ会員等の技術力向上を図りました。また、技術報告集第38号を発行、ホームページ掲載し、会員による研究成果をアピールしました。

2. 技術講習会等の開催

本部及び各支部において、技術講習会、見学会等を計67回（共催含む）開催し、延べ約6,480人（内訳、会員3,450人、地方公共団体職員930人、会員外民間2,100人）の方に参加いただきました。

3. 「下水道資源の農業利用の展望」講演会

下水道展'23札幌の併催企画として、「下水道資源の農業利用の展望」講演会を開催しました。下水汚泥等の農業利用施策についての学識者及びコンサルタント社員による講演会で、会場には約80名、webで約140名の参加がありました。

4. 次世代人材の育成等

小学生を対象に、下水道の仕組みや水環境に関する出前授業を実施しました。



技術研究発表会



「下水道資源の農業利用の展望」講演会

4 災害支援

行政のパートナーとしての役割を果たすため、他協会との連携・協働により減災、災害復旧・復興に関する支援体制の整備等を進めています。

- ① 事業者との災害時支援協定の締結など下水道BCP策定において協定に基づく関係団体の支援活動が注目されるなど、水コン協においては、令和5年度末で災害時支援協定の締結が78件、一括協定を含む協定対象団体は595件になりました。
- ② 災害時支援者育成講習会
災害等の発生時において災害時支援業務に関する会員の技術力アップを目的として、災害時支援者育成講習会を開催しました。
- ③ 災害時支援ブロック連絡会議、災害時支援全国代表者連絡会議に参加しています。



災害時支援者育成講習会